

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	寺田 実、山 一男		
居室	西2-611(寺田)、総合研究棟927(山)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
寺田 崎山	http://www.edu.cc.uec.ac.jp/pc/FP09a/

【主題および達成目標】
プログラミング言語Cの学習を通して、わかりやすく効率の良いプログラムを完成する能力を付けることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータリテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：C言語プログラミングレッスン 入門編 (結城浩著, ソフトバンクパブリッシング)
参考書：C 実践プログラミング (オウアルライン著, 望月康司監訳, オライリージャパン)
参考書：プログラミング言語C (カーニハン/リッチー著, 石田晴久訳, 共立出版)。

【授業内容とその進め方】
C言語の文法と基本的なアルゴリズムの構築方法を学び、総合情報処理センターの計算機環境の中で演習を行なう。
なおこの科目は、コンピュータリテラシーを受講し、計算機の基本的な利用技術を習得していることが前提となっている。

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業は教科書の各章をほぼ順に取り上げる形で進める。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

教科書の該当する章を事前に読んでくること。教科書の内容のだいたいの理解を前提として授業と演習を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

演習時の小テスト 40点、期末試験 60点の計 100点で、60点以上を合格とする。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって、合格の最低基準とする。

「簡単な問題が与えられた時に、その問題の解決方法を構成し、それをC言語に翻訳して実行することが出来る」

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

しっかりやってください。

【その他】

なし